

防水型無線温度計

SK-270WP-B

取扱説明書

∴ SK SATO

はじめに

このたびは防水型無線温度計「SK-270WP-B」をお買い上げいただきありがとうございました。

◎この製品は、本器専用の温度センサを接続し温度をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。

◎ご使用前には必ず取扱説明書（本書）をお読みになり、大切に保管してください。

（→P.）は関連事項の参照ページを表します。



警 告

本器は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気では絶対に使用しないでください。



爆発注意

爆発するおそれがあり大変危険です。

ご不明な点がありましたらお買い上げ店または弊社にご相談ください。



注 意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことをお守りください。

- 体温計として使用しないでください。
- 本器は精密にできていますので落下させたり、振動や衝撃を与えないでください。
- 分解、改造しますと故障の原因となりますので、絶対にしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用はやめてください。ケースの変形や故障の原因となります。
- 水中でのご使用はしないでください。
- 電氣的ノイズが発生する環境（IH調理器付近など）でのご使用になりますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- 測定範囲外でのご使用は故障や破損の原因となりますので、測定範囲内でご使用ください。
- コネクタ内部は防水構造ではありませんので、濡れた状態では接続しないでください。
- 温度センサの測定範囲外でのご使用は故障や破損の原因となりますので、測定範囲内でご使用ください。
- 温度センサのコードは引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたりしますと断線の原因になります。
- 自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障するおそれがあります。このような場所には放置しないでください。
- 温度センサの感温部先端は測定物に突き刺しやすいうようにとがり形状になっています。ご使用中やお手入れの際、思わぬけがをするおそれがありますので取り扱いには十分ご注意ください。

- 長期間使用しない場合は電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと電池から液漏れする場合があります、故障の原因となります。
また、電池を直接ハンダ付け、ショート、分解、加熱などしないでください。発熱、液漏れ、破裂する場合があります。電池から漏れた液体に素手で触れないでください。液体が皮膚や衣服に付着した場合はきれいな水で洗い流し、目に入ったときは水で洗った後、すぐに医師に相談してください。
- 不要になった電池は火中に投入しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂などによりけがや、やけどをするおそれがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。
- 環境保全のため使用済みの電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようお願いします。
- 本器のお手入れにはシンナー、その他溶剤などを使用しないでください。本器が変形、変質したり故障したりするおそれがあります。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。
- 次亜塩素酸ナトリウムはノロウィルスの消毒に効果的ですが、金属を腐食させます。センサ接続コネクタ部などの金属部へのご使用は避けてください。付着した場合は水拭きし、次亜塩素酸ナトリウムを確実に拭き取ってください。
- ネックストラップをご使用する際は十分ご注意ください。誤って首に巻き付き、窒息を起こすなど、思わぬ事故の原因となります。

修理および校正はお買い上げ店または弊社へお申し付けください。

■免責事項

株式会社佐藤計量器製作所は本製品に関して動作確認はおこなっておりますが、全ての状況下において動作を保証しているわけではありません。

本製品により生じた損害は、直接のおよび間接的損害を問わず、弊社に一切の賠償責任はないものとします。

操作上のミス、注意を無視した操作、ご使用になられているパソコンに起因する不具合、お客様の使用環境により生じたデータ欠損および消失に対して弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

※こちらで提供いたしております各種ソフトウェアに関しても、日本国内で販売されている各製品と日本語版OSの組み合わせのみ、動作確認をおこなっております。

海外機種、海外版OSとの組み合わせにて発生したトラブルに関しましては、一切保証およびサポートいたしかねますのでご了承ください。

■著作権

ソフトウェアのプログラムおよび関連ドキュメントに関する著作権は株式会社佐藤計量器製作所に帰属します。

逆コンパイル、ファイル解析、改変等を禁じます。本プログラムの使用による損害について弊社は一切の責任を負いません。

再配布したプログラムの使用による損害に対しても弊社は一切の責任を負いません。

「Microsoft」、「Windows」は、米国Microsoft社の商標または登録商標です。

その他、本文中に使われている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です。



注 意

本器は無線機器です。正しくご使用いただくために、以下のことをお守りください。

- ・本器は電波法に基づく技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた無線機を内蔵しています。

本器を分解、改造することは法律で禁じられています。

- ・本器は日本国外の電波法には準じておりません。日本国内でのみご使用ください。
- ・医療用機器（ペースメーカーなど）などの人命に関わる場所や、本器が発射する電波の影響があるところでは使用しないでください。
- ・ノイズの強い場所、強い磁力が発生する場所、静電気が発生する場所、強い高周波を発生する機器やサージを発生する機器からできるだけ離してください。通信不良や誤動作、機器が故障するおそれがあります。

ノイズの発生しやすいものとしては以下のものがあります。

産業機器、電子機器、蛍光灯、パソコン、電源ケーブル、電話線、LANケーブル、無線通信機器

- ・電波の通信状況は環境によって変動します。周辺環境の変化により通信が失敗することがあります。

周辺環境は常に変化しています。

電波状況を確認した時に電波状態が良好でも通信を保証するものではなく、周囲環境の変化により通信が失敗することがありますのでご了承ください。

概 要

本器はセンサとしてサーミスタを使用した防水型無線温度計です。

測定値を無線で送信します。離れた場所からパソコンで受信し、測定値を確認することができます。また、ロガー機能付きで測定値を記録し、専用ソフトウェアでデータの回収、表計算ソフトへのデータ変換がおこなえます。専用ソフトウェアは、弊社インターネットホームページからダウンロード（無償）いただけます。

特 長

- 無線通信で離れた場所から測定値の確認ができます。

測定値を無線で送信し、専用ソフトウェアに表示します。

- 複数台同時接続

パソコン1台で複数台の機器から、測定値の受信が可能です。

※ご使用状況と電波状況を確認し、接続台数を調整ください。

- ロガー機能

測定値を記録し、専用ソフトウェアで機能設定や、ダウンロードした記録データの閲覧また、CSVファイルへの変換が可能です。

- 防水構造

本器の防水性は、センサをしっかりと接続した状態でJIS C 0920「IP67」に準拠しています。

流水での丸洗いが可能です。

※水中でのご使用はできません。

●耐衝撃性

センサケース外周の保護ラバーにより、落下による破損を低減します。

●シリアルナンバー、校正年月表示機能

本器のシリアルナンバーおよび、機器校正をおこなった年月を表示します。

前回の校正年月の確認が容易におこなえ、次回校正時期の目安にご利用できます。

※弊社への校正依頼が対象となります。

●センサ互換性

本器と各種オプションセンサは完全互換です。

※SWP、SWP II センサとは互換性がありません。

付属品の確認

ご使用前に付属品が不足していないか、本器が輸送中に破損していないかご確認ください。万一付属品が不足していたり、本器や付属品が破損している場合は、お買い上げ店または弊社にご連絡ください。

防水型無線温度計

- | | |
|------------------------------------|----|
| ☐ 指示計本体 | 1台 |
| ☐ 単4形アルカリ電池 | 2本 |
| ☐ 取扱説明書 | 1部 |
| ☐ ビニールカバー | 1個 |
| ☐ ネックストラップ | 1本 |

270WP 標準センサ（標準センサ付きの場合）

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ☐ 温度センサ | 1本 |
| ☐ センサ取扱説明書 | 1部 |
| ☐ センサ収納ケース | 1個 |

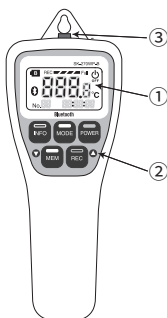
目 次

	ページ
各部の名称.....	1～3
ご使用方法.....	4～8
●電池のセット.....	4～5
●ビニールカバーの取り付け方.....	6
●ネックストラップの取り付け方.....	6
●温度センサの接続.....	7
●測定方法.....	7～8
●壁に掛けて使用するとき.....	8
機能.....	9～14
記録について.....	15～16
エラーメッセージ.....	17
仕様.....	18～19
インターネットホームページ.....	20
保証規定.....	20
品質保証書	

各部の名称

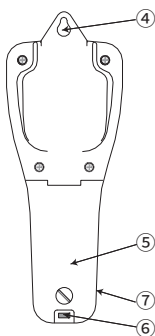
正面

- ①表示部
- ②キー操作部
- ③センサ接続
コネクタ

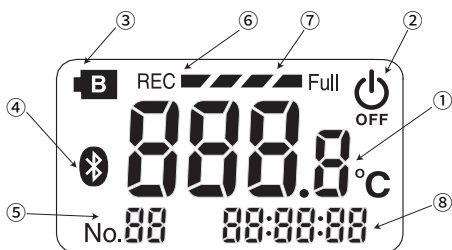


背面

- ④壁掛けフック穴
- ⑤電池フタ
- ⑥ストラップ取付部
- ⑦保護ラバー
(シリコン)



表示部



①測定値表示部

②  OFF : オートパワーオフ設定時、点灯します。

③  : 電池残量が少なくなると表示します。

④  : 無線通信設定がONまたは、無線送受信モード時、点灯します。

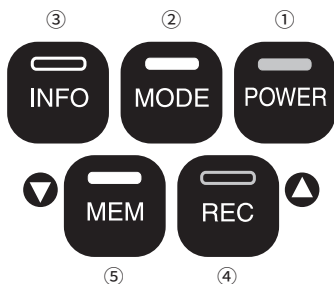
⑤測定 No 表示部

⑥ REC : 記録中点灯します。

⑦  : 記録データ量を4段階のバーで表示します。

⑧時計表示部

キー操作部



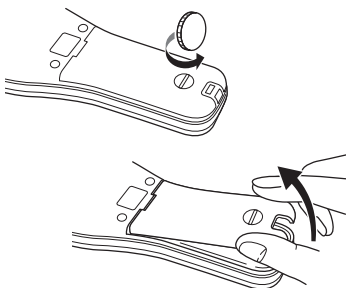
- ① POWER キー : 電源 ON/OFF キーです。
- ② MODE キー : 設定モードにおける設定項目の確定および次のモードへの移行キーです。
- ③ INFO キー : 機器の各設定情報を表示します。
- ④ REC キー : 連続記録を開始または終了するときに使用します。
- ⑤ MEM キー : 手動記録をおこなうときに使用します。

ご使用方法

●電池のセット

本器を初めて使用するときやローバッテリーマークが点滅した場合は、以下の手順で電池をセットまたは交換してください。

- ①本器裏面の電池フタ固定ネジをマイナスドライバーまたはコインなどで、矢印の方向（下図）に回し、ネジを緩めて電池フタを外します。



※電池収納部の溝にパッキンが設置されていますので電池フタ開閉時の紛失にご注意ください。

※電池交換の場合は古い電池を取り出してください。

※電池交換時でも、機器は電池除去から約2分間はバックアップ状態となり、内部時計を保持しますが、静電気や環境条件によりリセットされる場合があります。電池交換時は、交換後に機器の電源を入れ、時計のズレがないことを確認ください。ズレ等生じた場合は専用ソフトウェアで時計設定をおこなってください。

※電池収納部への水の浸入を防ぐため、本器が濡れている場合は水気を拭き取ってから電池フタを外してください。

※固定ネジは電池フタから外れない構造になっています。無理に引っ張ると破損します。

②電池の極性（＋、－）に注意し、電池収納部の表示に従って電池を入れてください。

③パッキンが溝にはまっていることを確認し、電池フタを開けたときの逆の手順で電池フタを閉めて固定してください。



注 意

- ・パッキンがきちんと溝にはまった状態で電池フタをしっかりと取り付け、ネジをしっかりと締め付けてください。取り付け、締め付けが不十分ですと防水性が悪くなり水が入るなどして故障、また、水により電池がショートし、液漏れ、発熱、破裂させるおそれがあり大変危険です。
- ・電池はすべて新品で同じメーカー同じ種類の電池をご使用ください。種類が違ったり、古い電池と混ぜると破裂や液漏れのおそれがあります。
- ・不要になった電池は火中に投入しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂などによりけがや、やけどをするおそれがあります。
- ・電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。
- ・環境保全のため使用済みの電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようお願いします。
- ・本器は密閉構造のため、充電式電池は使用しないでください。場合によっては電池からガスが発生し、破裂や引火するおそれがあります。

●ビニールカバーの取り付け方

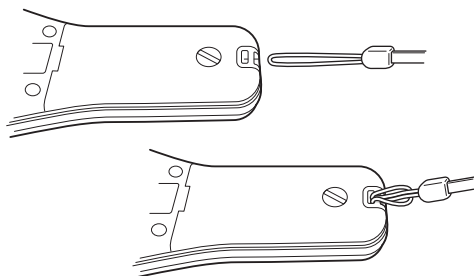
汚れから本器を保護するため、ビニールカバーを付属しています。また、落下したときの衝撃をやわらげます。

- ①ビニールカバーのくちを広げ、切れ込みがある面を本器背面になる向きに本器を収納してください。
- ②ビニールカバー上面の穴にセンサ接続コネクタと壁掛けフックを通し、ビニールカバー先端の帯を切れ込みに差し込んで止めてください。

注意：ビニールカバーをご使用の際、ビニールカバーに静電気が帯電し、指示値が不安定になることがあります。その場合はビニールカバーを外してご使用ください。

●ネクストラップの取り付け方

付属のネクストラップを下図の手順で取り付けてください。

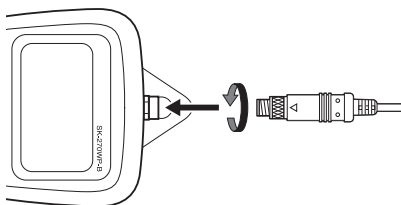


- ①ストラップ先端の輪になった細ひもをストラップ取付部の穴に通します。
- ②細ひもの輪の中にストラップ本体を通して固定してください。

●温度センサの接続

- ①本器の電源がOFFの状態ですенсаコネクタ内の凸部とセンサ接続コネクタ内の凹部を合わせて差し込んでください。
- ②センサコネクタのナットで、しっかりと固定してください。(図参照)
- ③温度センサの取り外しは、ナットを緩めてセンサコネクタをまっすぐ引き抜いてください。

※温度センサの保護のため、取り付けや、取り外しをするときは電源OFFの状態でおこなってください。

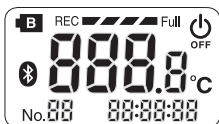


注 意

- ・センサコネクタを無理に引っ張ったり回したりしないでください。
- ・センサコネクタ内部は防水ではありません。本器からセンサを着脱するときは、濡れた手や水のかかる場所ではおこなわないでください。

●測定方法

- ①温度センサを接続し、電源を入れてください。
表示部が全点灯表示後、測定値を表示します。



※温度センサを接続せずに電源を入れると「Er2」が表示されます。

- ②測定対象物に温度センサを挿入してください。

※より正確に温度を測定するためには、センサの周囲温度の影響を受けないよう、測定対象物に対して十分な挿入長を確保してください。（目安として感温部外径の20倍以上）

- ③使用後は電源を切ってください。



注 意

- ・ 高い温度を測定する際は、やけどにご注意ください。
- ・ 高温測定後すぐに低温測定（またはその逆）をすると温度センサの劣化が早まります。しばらく常温に放置したあとに測定してください。
- ・ 本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響するおそれがあります。周囲の温度環境に十分なじませた後に測定をおこなってください。

●壁に掛けて使用するとき

壁や柱にネジなどを取り付け、本器背面の壁掛け穴を利用し、本器を引っ掛けてください。

注意：本器を左右に軽く揺らし、落下しないことを十分確認してください。

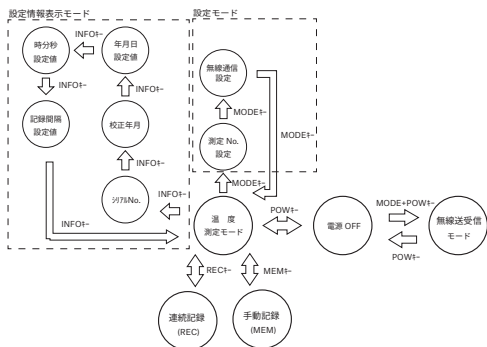
壁に掛けた状態で本器をむやみに引っ張ると、壁掛けフックが外れるおそれがあります。

機能

動作

本器はキー操作により以下の動作をおこないます。

※本器単独で設定できるのは、測定Noと無線通信のON/OFF設定のみです。その他の設定は専用ソフトウェアでおこないます。



①温度測定モード

温度測定をおこないます。

温度測定中は、時刻、測定Noを常に表示します。

②設定モード

測定Noと無線通信のON／OFFの設定をおこないます。

温度測定モードにて、MODEキーを押すと、設定モードに移行します。

※キー操作では測定Noと無線通信のON/OFFのみ設定が可能です。その他詳細設定は専用ソフトウェアでのみ可能です。

※設定モードで1分以上操作をおこなわないと、それまでに設定した設定値を反映した上で、自動で温度測定モードに戻ります。

●工場出荷時の設定

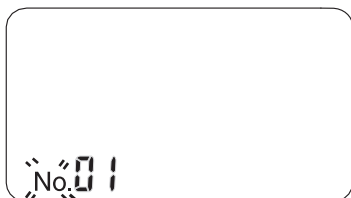
工場出荷時の設定は以下の通りです。

ご使用方法にあわせて専用ソフトウェアにて各設定をおこなってください。

項 目	設 定
測定 No	01
校正年月（※1）	—
記録間隔	1秒
オートパワーオフ機能	OFF
日時	2020/1/1 00:00:00
無線通信	OFF

※1：弊社での校正を実施された後、校正年月が表示されます。

●測定 No 設定



機器に測定 No を設定します。設定番号は 01～20 まで任意で設定が可能です。

MEM キーまたは REC キーで番号を設定し、MODE キーを押すと、設定値を確定し、次のモードに移行します。

測定対象物ごとに、測定 No を変更すると後のデータ解析に役立ちます。

※専用ソフトウェアでは測定 No のほか、測定 No にメモを付与することが可能です。

●無線通設定



機器の無線機能のON／OFF設定をおこないます。

無線機能をONにすると、連続記録中は記録間隔のタイミングで、手動記録モードではMEMキーを押したとき、測定値および各情報を無線で専用ソフトウェアに送信します。機器で記録をさせながら、専用ソフトウェアで測定値のモニタリングができます。

③設定情報表示モード

シリアル No



校正年月



年月日



時分秒

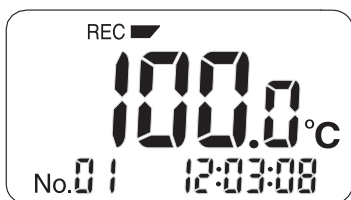


記録間隔



機器の各設定値を順に表示します。シリアルNoから順にINFOキーを押すごとに、校正年月、機器に設定されている日時および、記録間隔を表示し、温度測定モードに戻ります。

④手動記録モード



温度測定モードの時に、MEMキーを押すと、現在表示している温度／時刻／測定Noを機器に記録します。MEMキーを押し続けると、表示サンプリングに合わせて計測値を機器に連続で記録します。

⑤連続記録モード



RECキーを長押しすると、設定された記録間隔に基づき、記録をおこないます。

記録中に、INFOキーを押すと記録間隔とは別に、測定サンプリングに合わせて計測値表示をおこないます。再度INFOキーを押すと、計測値が消灯します。

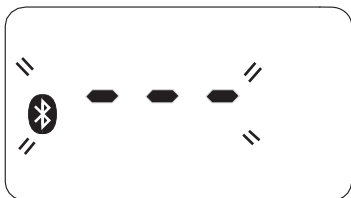
記録間隔は専用ソフトウェアで1秒から1分まで、7通りの設定が可能です。

※記録を終了するときもRECキーを長押ししてください。

※記録した各データは専用ソフトウェアでダウンロード可能です。

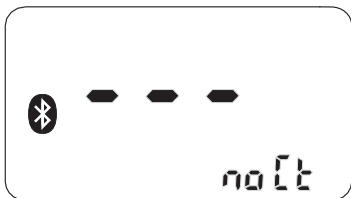
各記録データについては（P.15 記録について）を参照ください。

⑥無線送受信モード



専用ソフトウェアと無線通信をおこない、各設定や記録データのダウンロードをおこなうためのモードです。電源OFFの状態で、MODEキーを押しながらPOWERキーを押すと、本モードへ移行します。接続するパソコンとの接続が成功すると「— — —」点滅表示が点灯表示に変わります。

本モードへ移行し、1分間の間に接続ができなかった場合、以下の表示となり、通信をストップします。



無線通信を再度おこなう場合、INFOキーを2秒以上押下すると、再度無線送受信モードへ移行します。

※通信させるパソコンにBluetooth機能が無い場合、市販のアダプタを接続し通信させることができます。

お使いのパソコンの仕様を確認の上、アダプタの選定をおこなってください。

弊社では以下のアダプタで動作を確認しています。

ELECOM社製

LBT-UAN05C2/N

アイ・オー・データ社製

USB-BT-40LE

⑦オートパワーオフ機能

オートパワーオフ機能を設定時は、本器のキー操作が約60分間ない場合、オートパワーオフ機能が働き、自動で電源がOFFになります。電源の切り忘れによる無駄な電池の消耗を防ぎます。

電源OFFの状態ではMEMキーを押しながらPOWERキーを押し続けてください。

オートパワーオフ設定状態で起動し、表示部に「」キャラクタが点灯します。



オートパワーオフ機能を解除する場合は、オートパワー設定が有効となっているときに、電源をOFFにし、再度MEMキーを押しながらPOWERキーを押してください。オートパワーオフ設定が解除された状態で起動します。

注意：オートパワーオフをON設定していても、記録中や無線送受信モード中はオートパワーオフ設定が無効となります。温度測定モードに戻った時点で設定が有効に戻ります。

⑧ローバッテリー警告機能

電池が消耗するとローバッテリーマークが点滅します。この状態で使用しますと、測定誤差を生じたり誤動作するおそれがありますので、速やかに新しい電池に交換してください。（P.4 電池のセット）参照

記録について

測定値の記録は手動記録モードと連続記録モードより可能です。

記録は以下に説明しますとおり、方式ごとに、記録を区切ります。ご使用用途に合わせて、手動・連続記録方法を混在させて使用することができます。

※注意：記録したデータのダウンロードおよび、機器の各詳細な設定は専用ソフトウェアからのみ可能です。ご利用の際は、弊社ホームページよりダウンロードをおこなってください。

記録したデータは設定条件を変更することによって、データを分割します。

ページの分割条件は以下の連続記録です。

- ・手動記録を実行後、連続記録モードで実行した。
- ・手動記録を実行後、測定Noや一度電源をOFFにした。
- ・連続記録終了後、再度連続記録を開始した。

記録できるデータ数は記録方式により異なります。

- ・手動記録モード時 8,000 データ
- ・連続記録モード時 32,000 データ

※単一の方式で、ページ分割しない場合のデータ数です。記録方式の混在や、ページの分割数によって、保存できるデータ数は変化します。

※機器の記録容量がいっぱいになると表示部にFullのマークが点灯します。

Fullが点灯すると、これ以上の記録はできなくなります。専用ソフトウェアでデータをダウンロード、データの保存を

おこなった上で、機器の記録データを消去し、改めて記録を再開してください。

※連続記録モードと手動記録モードの両方式をご使用されている場合、Fullが点灯していなくても、機器に保存できなくなることがあります。これは、モードによる保存データ容量の違いにより、連続記録モードでは保存できるが、手動記録モードでは容量不足のために起こる現象です。この状態で保存動作をおこなうと、表示部に「Er6」が表示します。必要データをダウンロードし、保存の上、データの消去をおこなってください。

エラーメッセージ

エラー	エラー内容	対処方法
Er	測定値がHiまたはLoを超えている。	測定範囲内で使用してください。
Hi	測定値が表示範囲の上限を超えています。	
Lo	測定値が表示範囲の下限を超えています。	
Er0	内部処理異常です。	・電池を抜いてしばらく放置したあと電池をセットし電源を入れてください。 ・新しい電池に交換してください。
Er1	センサ信号の異常です。	一度電源を切り、センサをしっかりと接続し、再度電源を入れてください。
Er2	センサが接続されていない。またはセンサ故障。	本体にセンサが接続されていない状態で電源をONにすると表示されます。 温度センサを接続してください。センサを接続している状態でEr2表示となった場合、センサの故障が考えられます。お買い上げ店または弊社へお問い合わせください。
Er6	機器の保存容量がフルの時に、MEMまたはRECキーを押下した。	新たに記録したい場合、機器の記録データを削除してください。消去する前に必要なデータは保存をおこなってください。
Er7	無線通信不良	機器の故障が考えられます。使用を中止し、お買い上げ店または弊社へお問い合わせください。

※各状態異常発生時、記録はおこなえません。

仕 様

製品名	防水型無線温度計
型 式	SK-270WP-B
製品番号	8078-62
表示範囲	－50.0～300.0℃ ※測定範囲は接続するセンサにより異なります。
表示精度	± (0.1+1digit) °C：－40.0～200.0℃ その他±0.5℃ ※条件：測定環境が0～40℃ ± (0.2+1digit) °C：－40.0～200.0℃ その他±1℃ ※条件：測定環境が－10～－0.1℃、40.1～60℃ ※総合精度は接続するセンサにより異なります。 詳細はセンサの取扱説明書をご参照ください。
分解能	0.1℃
表示サンプリング	約1秒
表示機能	オートパワーオフ、通信マーク、測定No、時計、記録(REC、記録量)、ローバッテリーマーク、各設定における設定値表示
使用環境条件	－10～60℃ 80%rh以下 (結露無きこと)
保管環境条件	+10～60℃ (結露無きこと)
電源	単4形アルカリ電池 2本
電池寿命	約1000時間 (無線OFF時) ※記録間隔10秒、無線ON時は約900時間(LCD OFF時)
材質	PC
寸法	約 (W) 70 × (H) 171 × (D) 40mm ※突起部含まず
質量	約159g (電池含む)
無線規格	Bluetooth 4.2
	技適番号：㊞ ㊞ 201-190835
通信距離	見通し約30m ※使用環境により通信距離は変わります。

保護等級	JIS C 0920 IP67 に準拠 ※センサ接続時	
付属品	取扱説明書（本書）	1部
	単4形アルカリ電池	2本
	ビニールカバー	1個
	ネックストラップ	1本

※付属の電池はお試し用のため、電池寿命が規定より短い場合があります。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※センサの仕様に関しては、ご使用されるセンサに付属されている取扱説明書をご参照ください。

インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。

オプションセンサなどの情報も、こちらからご覧いただけます。

<https://www.sksato.co.jp>

保証規定

- 1) 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買い上げ店または弊社にご持参またはご送付ください。
- 3) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - イ．誤用・乱用および取扱不注意による故障
 - ロ．火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ．不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ニ．使用中に生じた傷等の外観上の変化
 - ホ．消耗品および付属品の交換
 - ヘ．本証の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また、本証は再発行いたしません。
大切に保管してください。

品質保証書

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入の上、本器の最終ご使用者のお手元に保管してください。

※当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、製品の修理・交換の製品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

製品名 防水型無線温度計

型 式 SK-270WP-B

※ お客様名

※ ご住所

※TEL

●以下につきましては、必ず販売店にて記入捺印をお願いいたします。

お買い上げ店名

⑨

ご住所

TEL

お買い上げ年月日 年 月 日



株式会社佐藤計量器製作所

101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-4

SK SATO

TEL 03-3254-8111 FAX 03-3254-8119

SK SATO

X.07